

議題1

愛媛県の認知症施策について



令和6年2月7日



愛媛県における認知症施策について(令和5年度)

1 認知症施策推進会議の開催

- 認知症施策推進会議の開催
- 認知症施策市町連携会議の開催

2 早期診断・早期対応のための体制整備

- かかりつけ医認知症対応力向上研修
- 認知症サポート医養成研修(県負担分10人)
- 認知症サポート医フォローアップ研修
- 認知症疾患医療センターの体制整備
- 歯科医師・薬剤師・看護職員・病院勤務以外の看護職員等の認知症対応力向上研修事業
- 「初期集中支援チーム員」「認知症地域支援推進員」研修支援

3 医療・介護サービスを担う人材の育成(認知症介護研修)

- 認知症介護基礎研修の実施
- 認知症実践者研修等の実施
- 認知症指導者養成研修、フォローアップ研修支援

4 地域での日常生活・家族支援の強化

- 認知症サポーター・キャラバンメイトの養成
- 認知症コールセンターの設置
- ピアサポート活動支援事業の実施
- チームオレンジコーディネーター研修会の開催
- 認知症カフェの設置促進(交流研修会)

5 若年性認知症施策の強化

- 若年性認知症交流会の開催
- 若年性認知症自立支援ネットワーク構築事業(自立支援ネットワーク会議の設置)
- 若年性認知症支援コーディネーター設置

6 普及啓発活動

- 認知症普及啓発フォーラムの開催
- 認知症本人大使「えひめ認知症希望大使」の委嘱

1-(2) 愛媛県認知症施策市町連携会議

1.開催日

令和5年12月7日(木) 13時30分～16時

2.テーマ

認知症のご本人、ご家族の声を聴くためにできることについて考える

3.内容

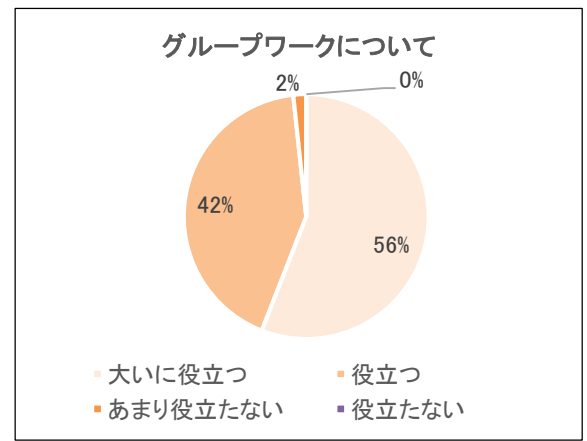
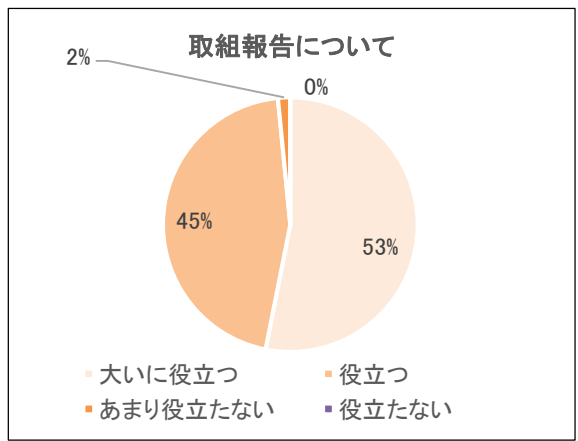
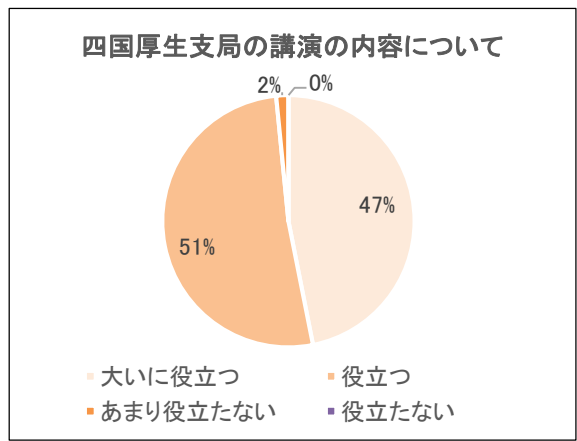
- ・講演:「認知症の人の視点を大切にした地域づくりのために」
講師:厚生労働省四国厚生支局地域包括ケア推進課
地域包括ケア推進官 篠岡 有雅 氏
- ・取組報告:各市町の認知症施策に関する取組について
 - ①認知症地域支援推進員との連携について(伊方町)
 - ②雄郡・新玉地区にチームオレンジができるまで(松山市地域包括支援センター雄郡・新玉)
 - ③オレンジカフェおいで～やの取り組み(伊予市地域包括支援センター)
 - ④本人の力と意欲を引き出す支援～認知症カフェ～(四国中央市)
- ・グループワーク

4.出席者

市町、地域包括支援センター、認知症地域支援推進員 他
計81名参加(市町担当者:72名、四国厚生支局:3名、谷向会長、横田CN、県担当者:4名)

1-(2) 愛媛県認知症施策市町連携会議

5.参加者からのアンケート結果



4-(3) ピアサポート活動支援事業の実施

(委託先: 社会福祉法人慈光会)

1.開催日

令和6年2月2日(金) 13時30分～16時00分

2.内容

- ・行政説明「愛媛県におけるピアサポート活動について」
- ・報告: 全国希望大使交流会議に参加して
- ・基調講演: 「認知症とともに生きる」
- ・グループワーク

令和5年度認知症ピアサポート研修会

令和元年4月18日、認知症施策推進関係者会議において「認知症施策大綱」(大綱)が取りまとめられた。そのひとつに普及啓発、本人関係支援が掲げられている。認知症の予防により健康寿命が伸び、その後の生活に不安を抱え込まなくて済む希望も出てくる。できる限り本人、家族は少なくない。一方、その時間を暮らしていくに暮らしている認知症の人たちは異口同音に、同じ経験を受け生き生きと暮らす人との出会いが契機になつたと語っている。この大綱では、全都道府県においてピアサポーターによる心理的、生活上に関する早期からの本人支援の実施がKPI/目標と掲げられている。このため我県においてもピアサポート活動を実施していくきっかけとして、市町認知症施策推進部、地域包括ケアセンター、認知症地域包括支援員、認知症疾患医療センター、医療、介護福祉関係者を対象に、「認知症ピアサポート研修会」を開催します。

日時: 令和6年2月2日(金) 13時30分～16時(開場13時～)

場所: 愛媛県看護協会(松山市道後2丁目11-14)

対象: 愛媛看護研修センター2階大研修室

対象: 愛媛県内の市町認知症施策担当者、地域包括支援センター

参加: 認知症地域支援推進員、認知症疾患医療センター、医療、介護、福祉関係者等 無料

申込: FAXまたはQRコード(裏面に申込書あり) 締切 令和6年1月26日(金) ~プログラム~

行政説明: 「愛媛県におけるピアサポート活動について」
愛媛県保健福祉部 長寿介護課

報告: 全国希望大使交流会議に参加して
報告者 ①えひめ認知症希望大使 高橋 勝 氏
②NPO法人まこと理事長 山崎 浩人 氏
③愛媛県長寿介護課 大亀 希 氏

基調講演: 「認知症とともに生きる(仮)」
写真家・京都府認知症大使 下坂 厚 氏

グループワーク
自分たちの住む地域でピアサポート活動を展開するためにできることをそれぞれの地域における課題や強みを含み合いながら、今後の活動につなげる方を検討していただきます。
(※)会場では、写真家として活動してらるる下坂さんの写真の展示を行います。
主催: 愛媛県・社会福祉法人慈光会いれき荘
～問合せ～
社会福祉法人慈光会(松山市水堀町4-5番地1) TEL:089-975-5558(横田)

令和5年度若年性認知症支援コーディネーター事業
認知症ピアサポート活動支援事業 共同開催

本人・家族交流会

にじいろのかい

参加無料

ピアは仲間という意味です。にじいろのかいは認知症ご本人、ご家族(同じ境遇下の仲間)で高い双方のエネルギーを感じ合い、ほっとできたり、元気になれる場です。心はお天気のように晴れたり、曇ったり、時には雨や嵐の時もあるでしょう……。しかし、ここに表れれば心機一体で、晴れ間の向こう側にある虹のような光を放つかもしれません。今回は、特別ゲストとして、京都府認知症大使の下坂厚さまも参加されます。是非ご参加下さい。

日時: 令和6年2月3日(土) 10時～12時

場所: 愛媛県看護協会
看護会館2階 第1研修室
(松山市道後町2丁目11-14)

参加対象: 認知症ご本人・ご家族(年齢制限なし)

専門家に診察しにくい時やご家族へのケアの行き詰まりにご参加下さい。

駐車場に診察しにくい時やご家族へのケアの行き詰まりにご参加下さい。

社会福祉法人慈光会いれき荘
参加ご希望の方は下記まで電話かショートメールでご連絡下さい。
070-3791-0342(担当:横田)

申込締切 1/31

4-(4) チームオレンジコーディネーター研修会の開催

1.開催日

令和5年10月19日(木) 10時30分～15時30分

2.内容

- ・認知症サポーター活動促進とチームオレンジ
- ・チームオレンジ(仕組み)とコーディネーター
- ・チームオレンジの立ち上げと活用方法
- ・事例から考える
- ・チームオレンジの実践に向けて

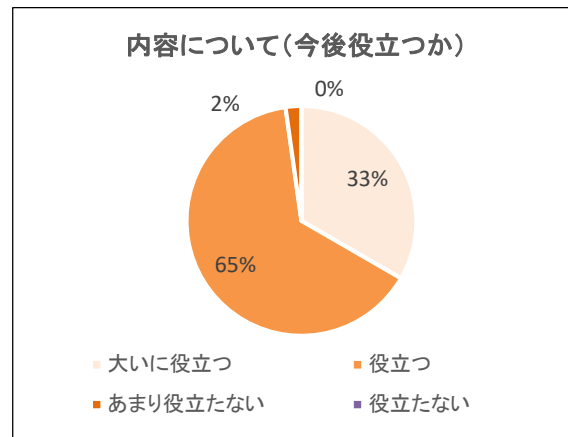
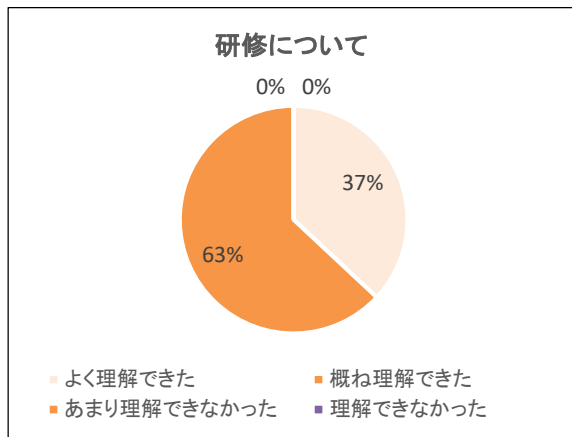
3.出席者

参加者:46名(市町・委託包括・社協から参加)



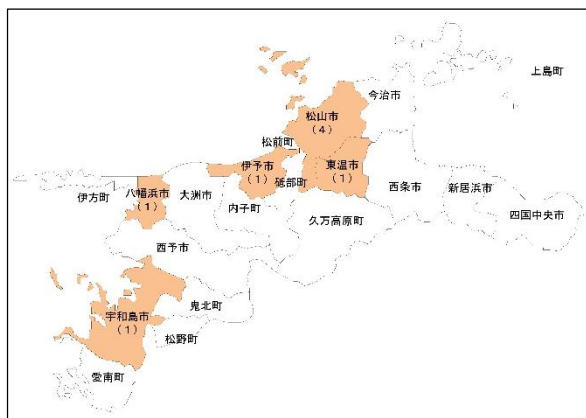
4-(4) チームオレンジコーディネーター研修会の開催

4.参加者からのアンケート結果

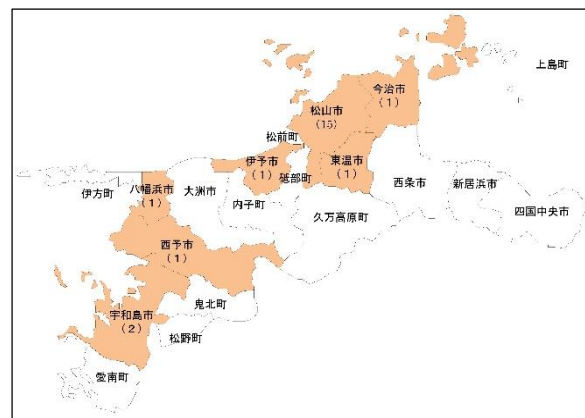


5.チームオレンジの設置状況

R5年3月末時点: 5市町8チーム設置



R5年12月末時点: 7市町22チーム設置



4-(5) 認知症カフェの設置促進(交流研修会)

1.開催日

令和5年7月25日(火) 13時30分～16時10分

2.内容

- ・講義「あらためて考える認知症カフェ～意義・役割・これから～」
講師:高知県立大学社会福祉学部 准教授 矢吹 知之 氏
- ・取組報告「東温交流カフェきらきら」での取組について
- ・グループワーク

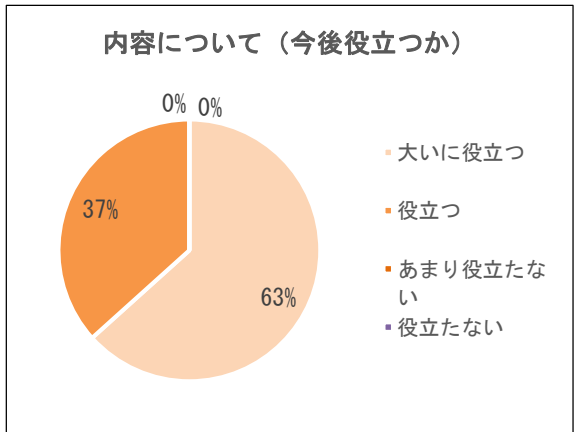
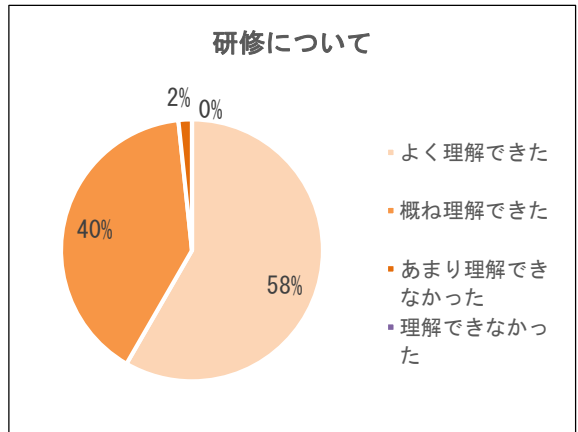
3.出席者

参加者:67名(市町・委託包括:49名、その他:18名)



4-(5) 認知症カフェの設置促進(交流研修会)

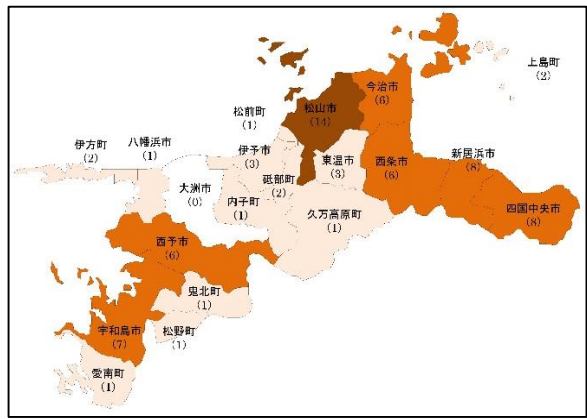
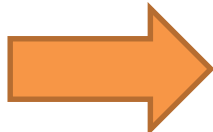
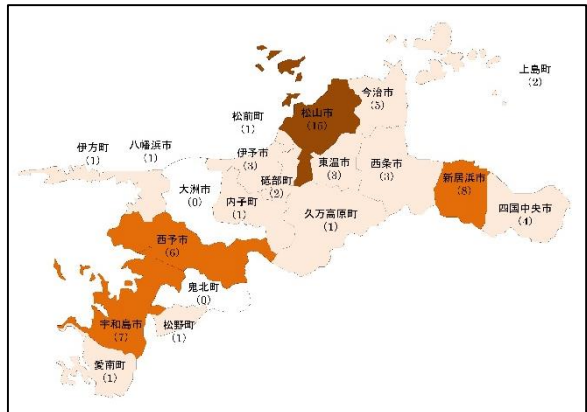
4.参加者からのアンケート結果



5.認知症カフェの設置状況

R5年3月末時点: 18市町65か所設置

R5年12月末時点: 19市町75か所設置



5 若年性認知症支援コーディネーターの活動実績

(委託先: 社会福祉法人慈光会 令和5年12月末現在)

1. 相談

- ・新規: 21件
- ・内容: 若年性の方を担当するので関わって欲しい(包括)、社会資源の照会(専門職)、診断後支援の依頼、就労支援、ケア会議への出席依頼 など

2. セミナー

OR5.6.10 広見体育センター 参加者116名

・テーマ: みんな仲間! ~豊かな理解と誰もが役割・生きがいを持って暮らせる地域を目指して~

OR5.8.19 松前総合文化センター 参加者55名

・テーマ: 若年性認知症のご本人と家族を支えるライフプラン

OR6.3.24開催予定 愛媛大学城北キャンパス

・テーマ: 認知症基本法について考えよう(案)

・一般社団法人「セカンド・ストーリー」代表 高知家希望大使の山中 しのぶさんをお招きする予定です



5 若年性認知症支援コーディネーターの活動実績

(委託先: 社会福祉法人慈光会 令和5年12月末現在)

3. 事例検討会

- ・Zoomによる事例検討会を実施
- ・毎月1回開催、参加延べ人数は147名

4. 若年性認知症交流会の開催(にじいろのかい)

- ・毎月1回集合方式による交流会を実施
- ・参加延べ人数232名(本人:76名、家族:94名、ボランティア:62名)
- ・R6.1～名称を「にじいろのかい」とした
- ・今年度は動物園に行ったり、道後散策等も行った



5. その他

- ・県内市町、地域包括支援センター主催の会議等に出席し、若年性認知症支援コーディネーター事業の概要説明や周知啓発を実施
- ・他県で実施される研修会や担当者会議に参加し、全国のコーディネーターとの意見交換を行い、他県の取組みなどの情報を収集
- ・えひめ認知症希望大使の講演に同行し、認知症に対する普及啓発を実施

6-(1) 認知症普及啓発フォーラムの開催

(委託先:公益社団法人認知症の人と家族の会愛媛県支部)

1.開催日

令和5年10月15日(日) 13時00分～

2.内容

・記念講演「認知症と生きる」

講師:砥部病院 認知症疾患医療センター長 中城 有喜 氏

・シンポジウム「認知症と生きる パートⅡ」

シンポジスト:砥部病院認知症疾患医療センター長 中城 有喜 氏

ご本人とご家族 坪北浩次氏・幸代氏

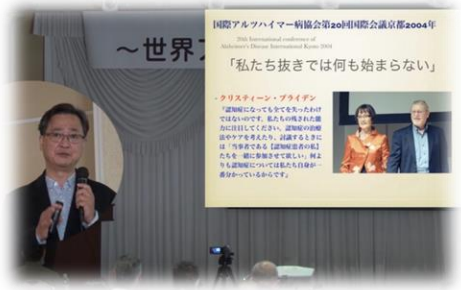
介護家族 久保 一栄 氏

介護家族 金森 一臣 氏

伊予市地域包括支援センター長 坂田 雅子 氏

座長 :愛媛大学大学院医学系研究科 教授 谷向 知 氏

えひめ認知症希望大使 宮脇 勝 氏



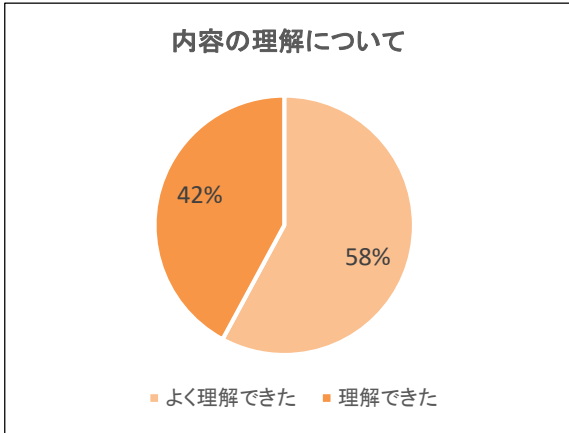
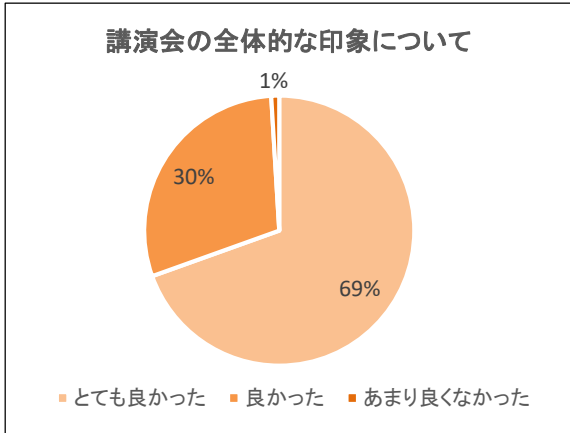
3.出席者

153名

6-(1) 認知症普及啓発フォーラムの開催

(委託先:公益社団法人認知症の人と家族の会愛媛県支部)

4.参加者からのアンケート結果



- ・認知症は特別な病気ではなく誰もがなりうる身近なものということがわかった
- ・認知症がどの段階でも食事・運動・人との交流が大切だとわかった
- ・認知症になっても別人になったわけではないという言葉が印象に残った
- ・音楽療法は効果的と実感できた
- ・当事者の生の声が聞けたのがとてもよかった。